

真言

発行 宗教法人 真言宗豊山派

医王山興福寺大楽院

代表役員住職 酒主 秀寛

福島県双葉郡楡葉町大字井出字谷地六十五

電話 〇二四〇一二五―二四三四

三祖宝号(宗祖、中興祖、派祖)

「南無大師遍照金剛」

「南無興教大師」

「南無尊誉僧正」

をお唱えしましょう。

医王山興福寺大楽院 役員

代表役員 酒主 秀寛
責任役員 芦口 一美
渡辺 勝康
渡辺 芳男
箱崎 豊
小松 イク
會澤 節夫
猪狩 正久
渡辺 好男
草野 公雄
鈴木 恒男
高野 幹生
草野 仁
橋本 明
代表世話人 草野 武夫
小松 岳生
小野 治久
根本 正勝
新妻 孝
猪狩 芳樹
新妻 則彦
渡邊 幸生
猪狩 義栄
小松 信夫
関谷 宗久
猪狩 一信
草野 和治
猪狩 三男
久保田 明
渡邊 良平
松本 公一

総代 渡辺 芳男

東日本大震災慰霊法要

三月十一日、朝勤行時に慰霊法要を行い、数多の精霊に供養の誠を捧げました。合掌。



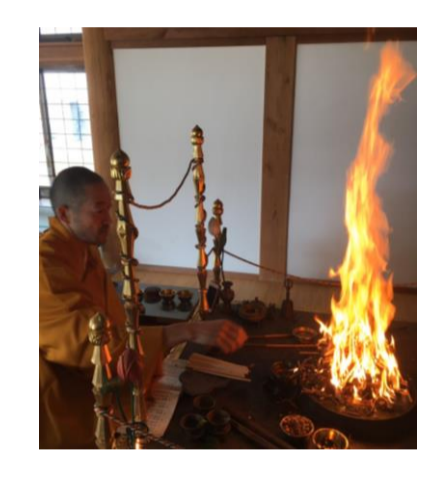
水子地藏尊供養会

十一月二十三日、供養会長渡辺芳男氏をはじめとした皆様のご参加により供養を行うことができました。



元旦護摩祈禱会

当山恒例の元朝護摩祈禱会が行われ、多くの檀信徒においていただき共に祈願いたしました。



観音堂祈禱会

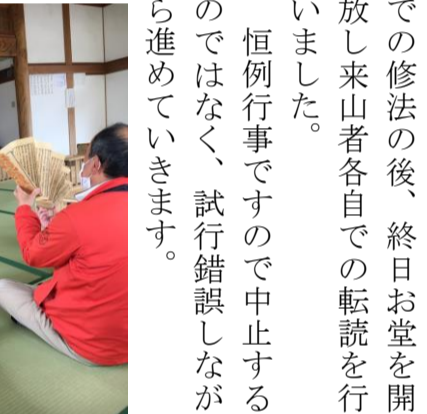
三月十四日、井出字西原にある観音堂において祈禱会が行われました。東日本大震災で犠牲になった畜牛の鎮魂供養と併せ、願主の家内安全、諸願成就等の諸祈願をいたしました。

御寄進

ありがとうございます
一・本尊供花 鈴木裕子殿
尚、正月・彼岸等のお供えについては、本堂内に掲示しております。

大般若経六百巻転読会

三月二十日、当山恒例の転読会が行われました。今回は感染症対策のため、導師のみでの修法の後、終日お堂を開放し来山者各自での転読を行いました。



総本山長谷寺参拝

本山団参はコロナ禍によりやむなく中止となり、十月十三日に住職のみで参拝しました。観音さまの御足に触れ、朝勤行にて当山壇中過去一切精霊の御回向を、そして檀信徒各位の安寧を祈念いたしました。



令和三年大施餓鬼会並びに新盆供養会

一 期日 八月六日(金)
午前十時三十分
二 会場 大楽院本堂
三 内容 新盆家・総代で先祖代々塔婆供養、新盆者供養
四 塔婆供養 精霊(祖霊)のある全檀家様分準備いたします
五 供養料 塔婆一本 五千元
六 塔婆引渡 八月六日供養会以降
随時

令和三年 年回表

一周忌	令和二年
三回忌	令和元・平成三十一年
七回忌	平成二十七年
十三回忌	平成二十一年
十七回忌	平成十七年
二十三回忌	平成十一年
二十七回忌	平成七年
三十三回忌	平成元・昭和六十四年
三十七回忌	昭和六十年
四十三回忌	昭和五十四年
四十七回忌	昭和五十年
五十回忌	昭和四十七年
百回忌	大正十一年

【お願い】令和三年度施餓鬼(お盆)塔婆供養料及び護寺費納入について
施餓鬼(お盆)塔婆供養料は、檀家で精霊(祖霊)のある方にお願います。一本五千元となります。本堂その他堂宇の火災保険料等に充てられます。
護寺費は宗派・支所賦課金、本堂消耗仏具等の購入に充てられるもので、全檀家様にお願しております。一檀家二千元となります。
いずれも、お寺の維持管理等のため必要となりますので、檀徒皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

当山では新しい生活様式を実践していきます。
諸行事や法要等の際は(状況に応じた)マスクの着用、消毒液の設置、換気の徹底、座席数を減らすなどの感染症対策をしております。
供養の在り方について不明な点はお相談ください。
皆様も十分お気を付けて日々お過ごしください。
合掌 (秀寛)

お寺の最新情報はSNSで発信しておりますので、パソコンやお持ちのスマートフォンなどでご確認ください。



敬称略・令和三年四月一日現在
信徒総代 松本 公一
同 渡邊 良平
同 久保田 明
同 猪狩 三男
同 草野 和治
同 猪狩 一信
同 関谷 宗久
同 小松 信夫
同 猪狩 義栄
同 猪狩 幸生
同 新妻 則彦
同 渡邊 幸生
同 猪狩 芳樹
同 猪狩 孝
同 新妻 孝
同 根本 正勝
同 小野 治久
同 草野 岳生
同 草野 武夫
同 橋本 明
同 草野 仁
同 高野 幹生
同 鈴木 恒男
同 渡辺 好男
同 猪狩 正久
同 會澤 節夫
同 小松 イク
同 箱崎 豊
同 渡辺 芳男
同 渡辺 勝康
同 芦口 一美
同 酒主 秀寛